

デーリー東北  
2018年（平成30年）10月23日（火曜日）（15）



自身のアート作品について説明するヘレン・グローブ・ホワイトさん

## アートは“対話”の契機

八戸工業大感性デザイン学部創生デザイン学科の東方悠平講師によるプロジェクト「アーティスト・イン・レジデンス八戸（AIRRH）」は18日、同大でイギリスのアーティスト、ヘレン・グローブ・ホワイトさんの講演会を開いた。学生ら約20人が参加し、ヘレンさんの作品制作の意図や、秘話などに聞き入った。

アーティスト・イン・レジデンスは、アーティストを招き、滞在して制作活動に取り

## 英の芸術家、八工大で講演

組んでもらう事業。ヘレンさんは、イギリスの原子力発電所に関する共同プロジェクトに参加するなど、核について関心があり、今回の来日では大間町や六ヶ所村を訪ねて見識を深めた。次は福島県へ向かう予定だという。

講演では、ヘレンさんが核燃料施設をフェンスが囲んでいる風景を、写真を撮らずに視覚化するため、放射線に反応する化学物質を利用して紙に転写させたエピソードなどを紹介。「創造する力を使い、人々が“対話”するきっかけをつくることが自分の役割」と力説した。（金濱千優希）